

広報とらつく

平成30年(2018年)7月15日 (3)

全ト協

ドライバーの健康管理に 「運輸ヘルスケアナビシステム」を ご活用ください!!

ドライバーの健康診断結果票がバラバラのフォーマットで、どう扱ったらよいのか手が付けられずお困りではありませんか? 健康診断を受けるだけになってはいませんか?

全日本トラック協会では、定期健康診断の事後フォローをサポートする「トラック運送事業者のための『運輸ヘルスケアナビシステム』」を運用しています。

<同システム運用の目的>

- ①ハイリスク者(肥満・高血圧・脂質異常・高血糖のうち3～4項目を満たす者)の見える化
- ②ドライバー不足の解消
- ③予防対策の推進
- ④健康な従業員の確保による健康経営

「運輸ヘルスケアナビシステム」は、事業者からバラバラのフォーマットの健康診断結果票をお預かりし、システムへ入力して、エクセルデータで一覧にしたものをお返すため、健康状態の悪いドライバーの抽出や、個々の結果の管理が簡単にできます。

費用は1人当たり2,000円ですが、全ト協で半額を負担いたしますので1人当たり1,000円でご活用いただけます。

ぜひ、健康起因による事故をなくすため、ドライバーの健康管理にお役立てください。

【問い合わせ・申し込み】

NPO法人ヘルスケアネットワーク(同システム受託機関)

大阪オフィス ☎06-6965-3666

東京オフィス ☎03-3295-1271